各　位

2026年11月５日

会 社 名　ダイニック株式会社
代表者名　　代表取締役社長 山田　英伸
（コード番号　3551　東証スタンダード）
問合せ先 取締役財務部門統括　新家　隆
（TEL. 03－5402－3132）

2027年３月期第２四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）及び通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 23,000	百万円 1,300	百万円 1,400	百万円 950	円 銭 115.90
今回修正予想（Ｂ）	24,000	1,880	1,990	1,540	187.89
増減額（Ｂ－Ａ）	1,000	580	590	590	
増減率（％）	4.3	44.6	42.1	62.1	
（ご参考）前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	22,029	1,067	1,100	1,123	135.56

（２）2027年３月期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 46,300	百万円 2,700	百万円 2,900	百万円 1,960	円 銭 239.13
今回修正予想（Ｂ）	48,000	3,000	3,200	2,160	263.53
増減額（Ｂ－Ａ）	1,700	300	300	200	
増減率（％）	3.7	11.1	10.3	10.2	
（ご参考）前期実績 （2026年３月期）	44,227	2,304	2,458	2,493	302.58

（３）業績予想の修正理由

2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績につきましては、中東情勢の緊迫化により、原材料・燃料の価格高騰と調達の遅れや不足が懸念されましたが、迅速に販売価格転嫁を進めたことや、主力の印刷情報関連事業の販売が海外市場を中心に好調で、円安効果も寄与し売上、利益を押し上げました。また生産部門においても効率の改善やコスト削減により収益性が改善いたしました。これらの要因により売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する中間純利益のそれぞれが前回公表予想を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

通期の業績予想（連結）につきましても、中東情勢は引き続き不透明な状況下ではありますが、足元の受注状況も概ね堅調に推移している事より、業績予想を修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。